D3.js入門

西田 直樹

はじめに

- 必要なもの: モダンなブラウザ
 - ChromeかFirefoxが無難
 - Opera…?
- スライドとサンプルコードはすべてGitHubに アップロードしてあります
- 手元でスライドを見ながら進めてください.

自己紹介

- 西田 直樹 @domitry
- 専門: 生物物理
- A member of SciRuby, E-cell project
- Simulation, Visualization





Agenda

- D3.jsとは
- D3.jsができること
- JavaScriptの基本
- D3.jsの基本
- やってみよう
- 終わり

D3.jsとは

- Data Driven Documents -> d3
- データ可視化のためのナウでヤングなライブラリ
- 詳しくは http://d3js.org/

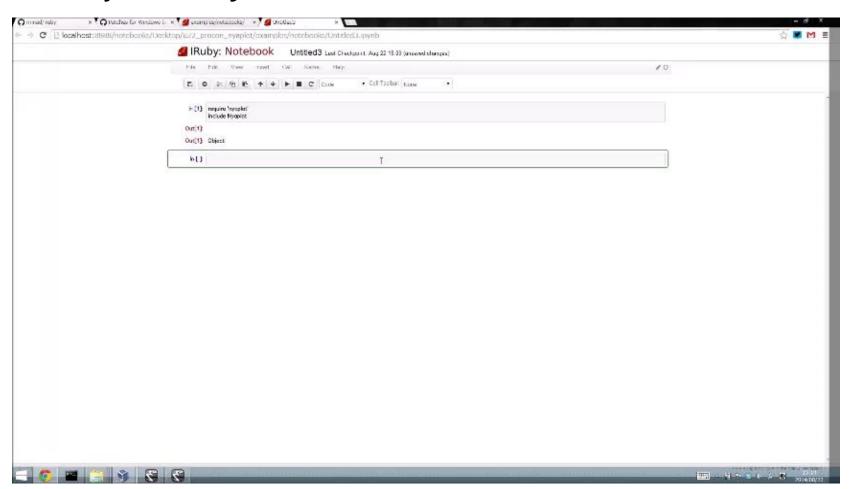


D3.jsができること

- 色々。jQueryの代替のようなことから高レベルなSVGの構築など
- 統計な人たちからBioinformatics屋さんまで
- 他言語との連携が熱い

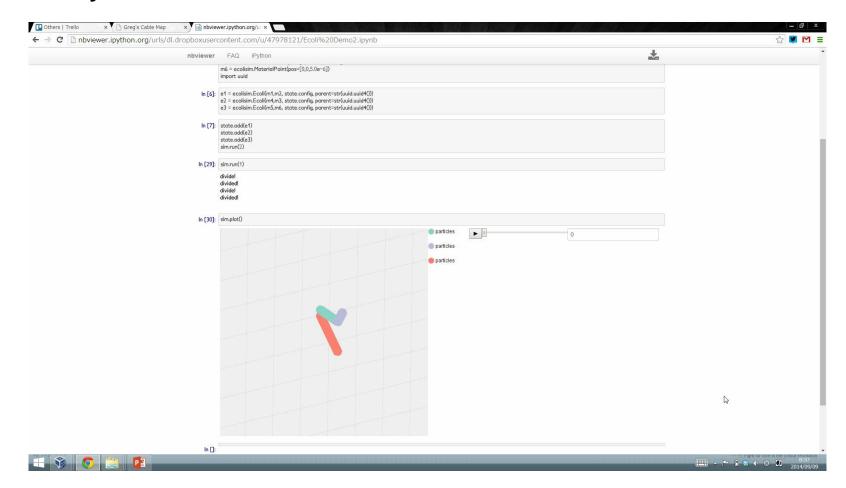
Nyaplot

• D3.js+Ruby



Elegans

• D3.js+WebGL



JavaScriptの基本

Question

• プログラミングしたことある人?

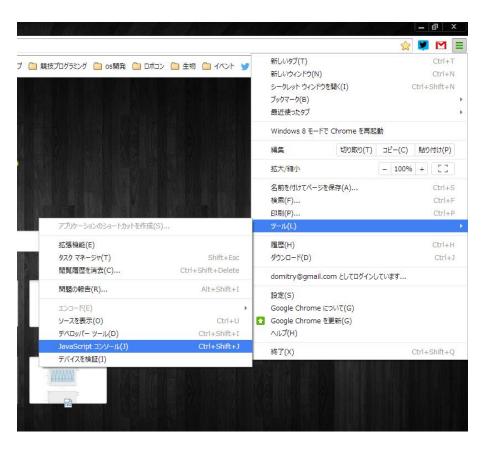
Question

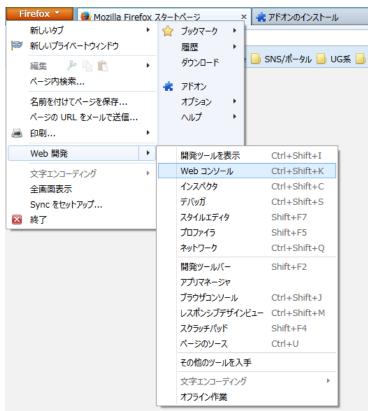
- プログラミングしたことある人?
- C言語書いたことある人?

Question

- プログラミングしたことある人?
- C言語書いたことある人?
- JavaScript書いたことある人?

JavaScriptコンソール





JavaScriptコンソール

- コードを入力するとその場で実行
- Shift+Enterで複数行入力

```
console.log( "Hello, world!" );
```

変数と型

- JavaScriptは動的型付け言語
 - Number -> intやfloatの区別なし
 - Array
 - Object -> 実は割と皆Object, 今回はHash的に使う
 - Function

```
typeof {a: 3, b: 4, c: 10} //->? typeof [10, 20, 30] //->?
```

制御文の数々

- 基本的にCと一緒!(と思っていたら痛い目に あうこともある)
 - if
 - switch, case
 - for
 - while
 - break, continue

関数

- functionで定義
- 引数の指定に型はいらない

```
function Str2Int(str){
    return ParseInt(str);
}
Str2Num( "3" ); //-> 3
```

無名関数・クロージャ

• window.onloadに無名関数を代入するとページのロードが終わった時点で実行される。

```
window.onload = function(){
     console.log( "Hello, world!" );
};
```

無名関数・クロージャ

- ・先ほどのStr2Intは次のように書ける。
- 関数はFunction型のオブジェクト

```
var Str2Int = function(str){
    return ParseInt(str);
};

Str2Num( "3" ); //-> 3
console.log(typoeof Str2Int); //-> 'function'
```

無名関数・クロージャ

• スコープを汚したくないときは次のようにも書く

```
var hoge = (function(){
     var a = 5;
     var b = 3;
     return a*b;
})();
console.log(typeof a); //-> 'undefined'
```

D3.jsの基本

D3.jsの基本

- ここで解説するもの
 - selector
 - data, datum
 - scale

サンプルコードは下記URLを開いてJavaScript コンソールで実行してください

Selector

- jQueryのセレクタと同じようなもの
 - select(name)
 - selectAll(name)

```
var hoge = d3.select( ".hoge" ); // hogeというクラスの要素を一つ選択 hoge = d3.select( "svg" ); // svgタグの要素を一つ選択 var child = hoge.select( "rect" ); var rects = d3.selectAll( "rect" ); // rectタグの要素をすべて選択
```

Selector

- 便利なメソッド
 - append(node_name)
 - attr(name, val)
 - style(name, val)

```
hoge.append( "rect" ).attr({ 'x' : 100, 'y' : 100, 'width' : 200, 'height' :200, 'fill' : '#f00' });
hoge.selectAll( "rect" ).attr( "fill" , "#0f0" );
```

data, datum

- DOMノードとデータを紐づける
 - data 複数のDOMノードにまとめて紐づけ
 - datum 一つのDOMノードに一つのデータを紐づけ
- 紐づけたデータにはattrやstyle経由でアクセスできる

```
hoge.selectAll( "rect" ).data([0, 100]);
hoge.select( "rect" ).datum([0, 100]);
```

dataの使い方

• データの要素数だけDOMノードがない場合 enter()で"まだ存在しないノード"を選択。

dataの使い方

- データの要素数だけDOMノードがない場合 enter()で"まだ存在しないノード"を選択。
- appendでrectをくっつける。

Scale

- データから実際の座標に変換
 - domain 入力データ
 - range 出力座標

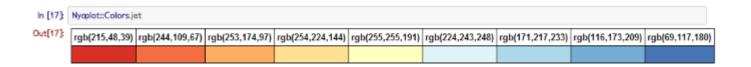
```
var scale = d3.scale.linear().domain([0, 2]).range([0, 100]);
scale(1);
scale(2);
scale(1.5);
```

Scale

- データの種類によって色々なscaleが定義
 - linear 連続データ, 線形対応
 - log 連続データ,対数目盛のイメージ
 - ordinal 離散データ

Scale

• 座標だけでなく色もrangeに指定できる



Underscore.jsの基本 (おまけ)

_.map

• 第二引数のfunctionに要素を一つ一つ代入,返り値を配列にまとめて返す

```
_.map([0, 1, 2], function(val){
    return val*2;
}); // -> [0, 2, 4]
```

.reduce

- valには左から順番に要素の値が入る
- memoは最初は{},次からfunctionの返り値
 - {}, {'1':10}, {'1':10, '2':9}

```
_.reduce([10, 9, 6], function(memo, val, i){
    memo[String(i)] = val;
    return memo;
}, {}); // -> { '1' :10, '2' :9, '3' :6}
```

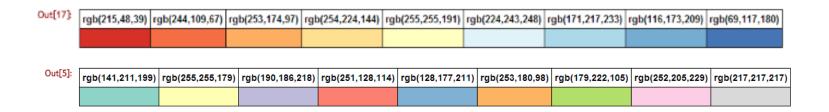
便利関数色々

- max, min, each, isUndefined, isArray, etc.
- 詳しくは<u>http://underscorejs.org/</u>

補足

Colorbrewer

- 用途別のカラーセット
- http://colorbrewer2.org/
- The Apache License

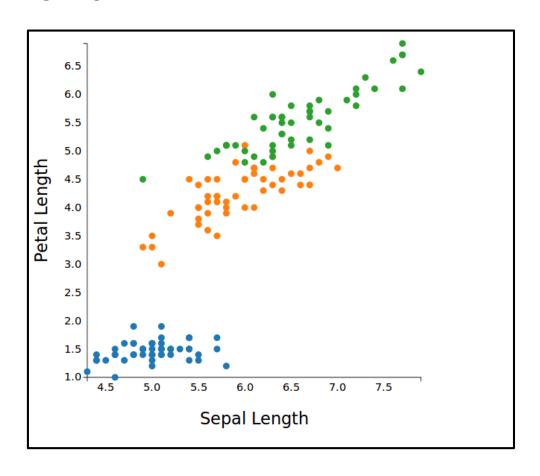


やってみよう

Attention

- 腕に自信がある人は手元のpdfを見ながら先に 進んでもらって構いません(後半の課題は解説 しません)
- スライドに書いてある通りのことをやってもら わなくても結構です
- つまったら私かチューターに声をかけてください

• iris.html



- iris.csv
 - 言わずと知れた超有名データセット
 - あやめ(iris)の花びら(Petal)の長さと,がく片 (Sepal)の長さに相関があるか調べる



Credit: katorisi | License: CC-BY-SA-3.0 GFDL

- ・やること
 - データを解析してscaleを作る(★☆☆)
 - 散布図(scatter)を作る(★☆☆)
 - 種(Speciesごとに)色分けをする(★☆☆)
 - 軸にラベルをつける(★☆☆)

Assignments#-1 scaleを作る

・31行目のdomainを以下のように書き換えてみる

```
return d3.scale.linear().domain([-1, 3]).range([width, 0]);
```

Assignments#-1 scaleを作る

- templates/iris.htmlの19行目にブレイクポイント
- 元のデータ(hpi)と加工後のデータ(data)を比較

```
6: Object
                                                                                    ■ スタイルエディタ
           コンソール
                                                                                                                 ② プロファイラ
                                                                                                                                           三 ネットワーク
                                            7: Object
                                            8: Object
                                                                                      kt/i.send/< d3.v3.min.js:1
                                                                                                                               window.onload/< iris.html:19
                                            ▶ 9: Object
                                                                             derscore-min, is"></script>
                               <script</pre>
                              <style>
                                            ▶ 10: Object
file://
                                           11: Object
                                  strok
iris.html
                                  strok
                                            12: Object
                                  fill:

√ 19 var...
                     10
                                            ▶ 13: Object
                     11
                              </style>
http://d3j...
                     12
                              <script>
                                            ▶ 14: Object
                     13
....v3.min.js
                                 d3.csv("in s://dl.dropboxusercontent.com/u/47978121/iris.csv", function(error, hpi){
                     14
                     15
                                   var data = .map(hpi, function(row){
                                      return {"sl":row['Sepal Length'], "pl":row['Petal Length']};
http://un...
                     16
                     17
                                   });
...erscore.is
                     18
                     19
                                   var width = 500, height = 500;
                                   var padding = [80, 10];
                     20
                     21
                     22
                                   // prepare dom node
                                   plot = d3.select(".plot").append("g").attr("transform", "translate(" + padding + ")");
plot.append("g").attr("class", "x axis").attr("transform", "translate(0," + height + ")");
plot.append("g").attr("class", "y axis").attr("transform", "translate(0,0)");
plot.append("g").attr("class", "field").append("path");
                     23
                     24
                     25
                     26
                     27
                     28
                                   // scales
                                              .. .. 111
```

Assignments#-1 scaleを作る

- 31,36行目にブレークポイント,pl,slの中身を見てみる
- 両方ともdomainを正しく指定するだけで動く はず

```
_.min([0,1,2]); //-> 0
_.max([0,1,2]); //-> 2
```

Assignments#-1 散布図を作る

- インスペクタを開く
 - class属性がfieldのgroupにcircleを追加すればよい

```
① デバッガ
                                                             ■ スタイルエディタ
        コンソール
                         中 インスペクタ
         html
                    body
                                div
                                         svq.plot
                                                                q.field

√html lang="en">

 ▶ <head></head>

√body>

  _d <div style="width:100%; height:100%">

⊿ <svg class="plot" style="width:100%; height:100%">
     ▶ <g class="x axis" transform="translate(0,500)"></g>
       ▶ <g class="y axis" transform="translate(0,0)"></g>
        <g class="field"></g>
       </g>
     </svg>
    </div>
  </body>
 </html>
```

Assignments#-1 散布図を作る

• class属性がfieldのgroupにcircleを追加

Assignments#-1 散布図を作る

- circleの位置を変える
 - dにはdataの要素が一つずつ入る
 - x, yは先ほど作ったscale

Assignments#-1 色分けをする

• color scaleを用意

```
var color_scale = d3.scale.category10();
```

Assignments#-1 色分けをする

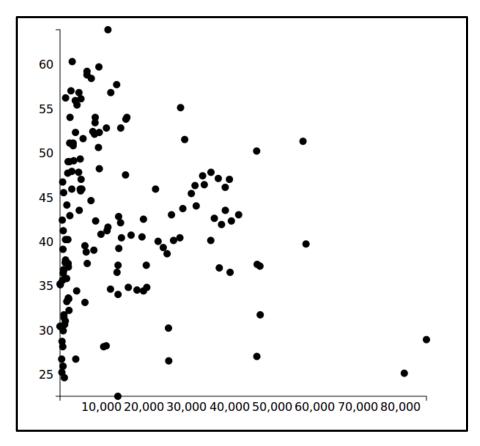
• 16行目, 元のデータからSpeciesの情報を抜き出してdataに入れておく

Assignments#-1 色分けをする

• fill属性を無名関数に変える.

Questions?

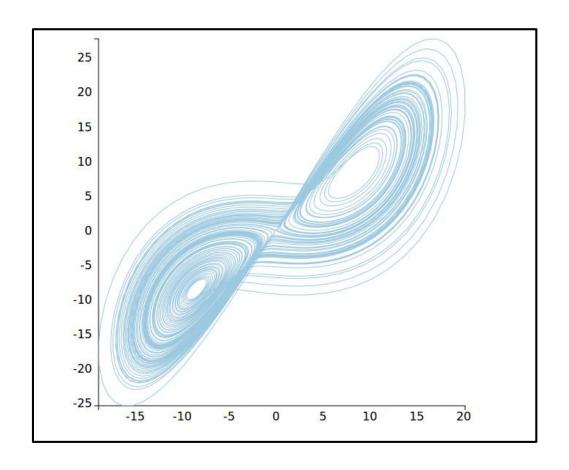
hpi.html



- hpi.csv
 - Happy Planet Index 地球幸福度指数
 - これからは経済力で競う時代じゃない, 大事なのは国民の幸福度だ! の指標の一つ.
 - GDPと人口(Population), HPIに相関がありそうか見てみる.
 - 出展: http://www.happyplanetindex.org/

- ・やること
 - Assignment#-1と同じように散布図を作成してみる。 (☆☆☆)
 - GDPを横軸, HPIを縦軸にする。
- やること(Optional)
 - 人口で色分けしてみる。(★★☆)
 - d3.scale.linear()を使う。
 - Assignment#-1と違いちゃんとrangeとdomainを指定しないといけない

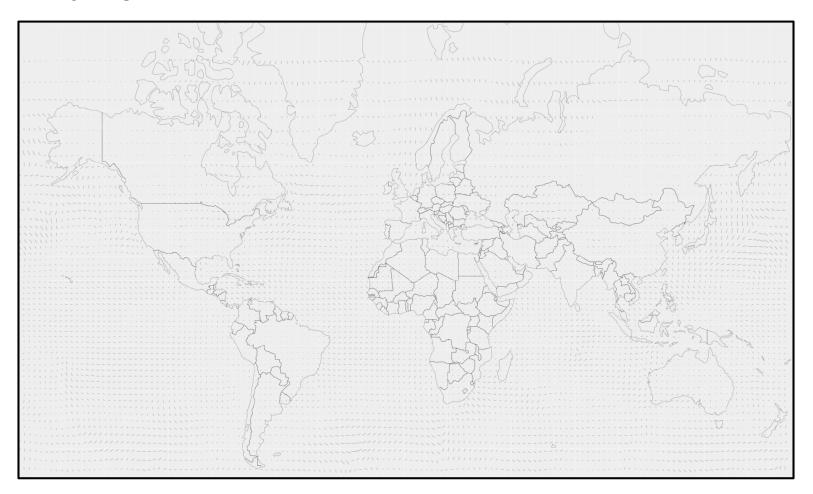
attractors.html



- attractors.html
 - 有名なLorenz Attractor
 - オイラー法で微分方程式を解いてプロット

- ・やること
 - templates/attractors.htmlを完成させる
- やること(Optional)
 - setIntervalを使って時間によって線が伸びていくようにする($\bigstar \star \diamondsuit$)
 - tによって線の色を変える(★☆☆)
 - Chuaなど別のアトラクタを実装する(☆☆☆)
 - アトラクタを切り替えられるようにする(★★★)

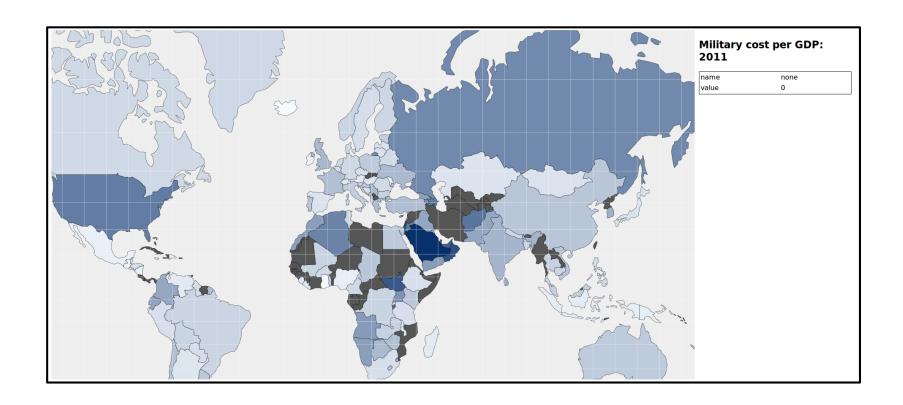
• wind.html



- wind.csv
 - NASAの全世界風向・風力データを手頃に加工した もの
 - Ion, latは緯経度
 - uwnd, vwndの単位はm/s

- ・やること
 - templates/wind.htmlに付け足して地図の上に風向きを表す線をつけてみる. $(\bigstar \diamondsuit \diamondsuit)$
- やること(Optional)
 - 線の色を風量によって変える(★☆☆)
 - 線の先に矢印をつける等(★★☆)

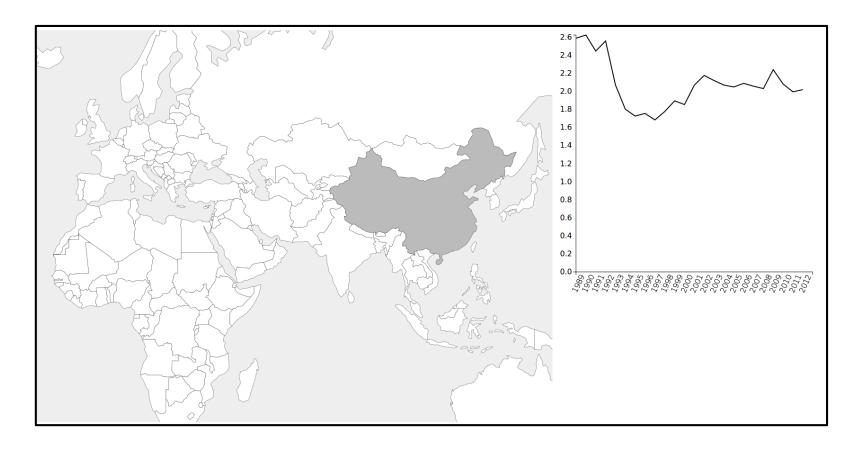
• gdp.html



- gdp.csv
 - UN dataから, 軍事費の対GDP比を国, 地域別に集計したもの
 - 1980年代から2012年までばらばら
 - 国名もばらばら(できるかぎり修正しました)

- ・やること
 - templates/gdp.htmlを改変して軍事費によって地図を塗り分けてみる(★★☆)
- やること(Optional)
 - 左の地図をクリックしたら対応する国名と値を右の表に表示する(★★☆)
 - 表の下に年度による値の推移を折れ線グラフとして表示(★★★)

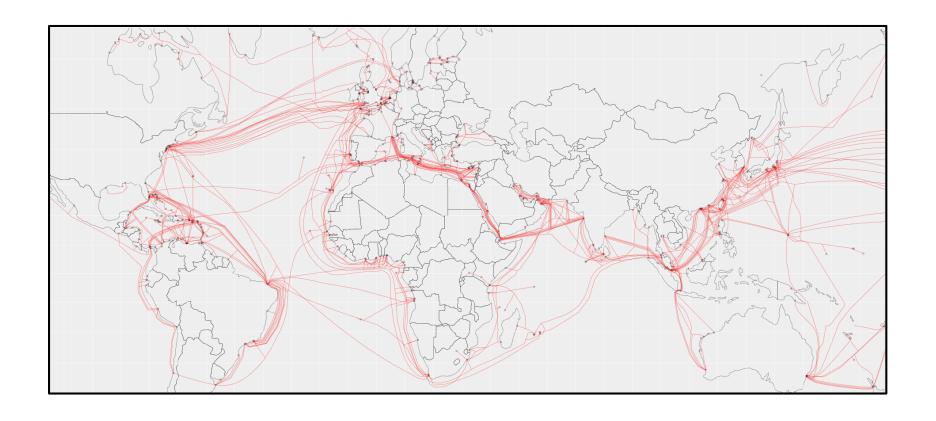
multiple_pane.html



- gdp.csv
 - さっきと一緒

- ・やること
 - templates/multiple_pane.htmlを改変して左の地図 をクリックしたら右に折れ線グラフを表示するよう にする(★★☆)
- やること(Optional)
 - 複数の国を選択できるようにする(★★☆)
 - 国によって折れ線グラフ, 地図の色を変えるようにする(\bigstar \diamondsuit \diamondsuit)
 - 凡例を折れ線グラフの下に表示(★★☆)

• cable.html



- gregs_cable_map.geo.json
 - 全世界の海底ケーブルのデータ
 - ケーブルの座標と接続点の座標
 - データ元:
 - GPL v3

- ・やること
 - templates/cable.htmlを改造して海底ケーブルを地 図上に表示する(☆☆☆)
- やること(Optional)
 - ケーブルによって色を変える(★☆☆)
 - ・ 地名を地図上に表示する(★☆☆)
 - 各ポイントにマウスを乗せるとマウスの位置に地名 が出るようにする等($\star\star$